令和8年度　杉並区事務事業評価シート

事務事業名称	生涯スポーツ振興事業				款	03	項	06	目	01	事業	001	整理番号	107
現担当課名	スポーツ振興課			係名	事業係				連絡先電話番号	1673			昨年度整理番号	100
上位施策No・施策名	29	誰もがスポーツに親しむことができる環境づくり							予算事業区分	既定事業				
事業開始	昭和37年度	実行計画事業		分野	08	施策	29	計画事業	01	02				
令和7年度担当課名	スポーツ振興課								事業評価区分	一般				

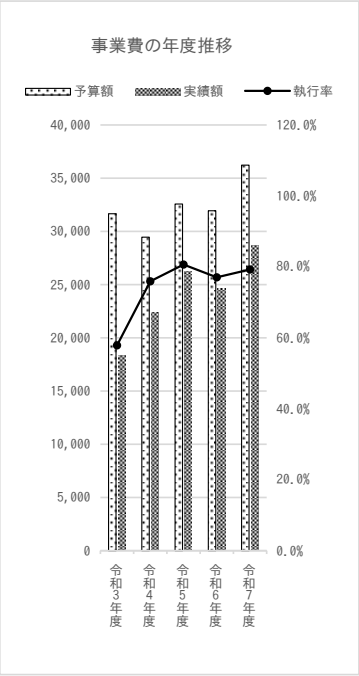
令和7年度　事務事業の概要（Ｐｌａｎ）

対象	根拠法令等
スポーツをする機会の少ない人及びスポーツ団体・競技者	社会教育法第2、3、5条、スポーツ基本法第22条、32条 杉並区スポーツ推進委員に関する規則、杉並区スポーツ栄誉顕彰要綱
事業の目的・目標（対象をどのような状態にしたいのか）	**事業内容（事務事業の内容、やり方、手段）**
○生涯スポーツ振興事業を通して、スポーツ実施者の拡大を図るとともに、事業の運営等への参画・協働の仕組みを充実させ、様々な立場でスポーツに関わる人を増やすことで、人と人とのつながりを広げ、スポーツによる地域づくりを目指す。	○第33期（令和8～9年度）スポーツ推進委員と、地域拠点活動や、綱引き大会などのレクリエーションスポーツの普及啓発を行う。 ○重度心身障害者スポーツ教室（わいわいスポーツ教室）をボランティア等と年6回開催する。 ○交流自治体中学生親善野球大会を開催する。

指標、総事業費（Ｐｌａｎ・Ｄｏ）

	指標名	指標説明	単位		令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
活動指標	各種生涯スポーツ事業回数		回	計画	21	22	24	27
				実績	22	23	25	-
				達成率	104.8%	104.5%	104.2%	-
	共催件数		件	計画	35	35	35	33
				実績	33	33	32	-
				達成率	94.3%	94.3%	91.4%	-
成果指標	各種事業参加者数・スポーツ栄誉章被顕彰者数	生涯スポーツ振興事業の延べ参加者数・スポーツ栄誉章被懸賞者数	人	計画	2,156	2,435	2,315	2,440
				実績	1,774	2,348	2,635	-
				達成率	82.3%	96.4%	113.8%	-
	分類　行政サービス成果指標							
	各種事業ボランティア等人数	生涯スポーツ振興事業8事業の実行委員・ボランティアの延べ人数	人	計画	246	340	368	374
				実績	247	409	375	-
				達成率	100.4%	120.3%	101.9%	-
	分類　行政サービス成果指標							

		単位		令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
事業費		千円	予算額	31,659	29,458	32,572	31,939	36,226	33,717
			実績額	18,323	22,368	26,271	24,611	28,715	-
			執行率	57.9%	75.9%	80.7%	77.1%	79.3%	-
人件費	常勤職員分（再任用含）	千円	予算額	53,314	51,977	58,226	66,968	68,448	71,200
			実績額	54,563	68,790	72,409	91,207	94,963	-
			執行率	102.3%	132.3%	124.4%	136.2%	138.7%	-
	上記以外の職員		予算額	0	0	0	0	0	0
			実績額	0	0	0	0	0	-
			執行率	-	-	-	-	-	-
総事業費（事業費+人件費）		千円	予算額	84,973	81,435	90,798	98,907	104,674	104,917
			実績額	72,886	91,158	98,680	115,818	123,678	-
			執行率	85.8%	111.9%	108.7%	117.1%	118.2%	-
財源	受益者負担分①	千円	予算額	0	0	0	0	0	0
			実績額	0	0	0	0	0	-
			執行率	-	-	-	-	-	-
	国・都からの補助金②	千円	予算額	0	5,878	2,450	2,700	2,900	3,300
			実績額	1,102	5,553	3,041	3,372	4,056	-
			執行率	-	94.5%	124.1%	124.9%	139.9%	-
	その他の補助金等③	千円	予算額	0	0	0	0	0	0
			実績額	0	0	0	0	0	-
			執行率	-	-	-	-	-	-
	特定財源（①+②+③）	千円	予算額	0	5,878	2,450	2,700	2,900	3,300
			実績額	1,102	5,553	3,041	3,372	4,056	-
			執行率	-	94.5%	124.1%	124.9%	139.9%	-
	差引：一般財源（総事業費-特定財源）	千円	予算額	84,973	75,557	88,348	96,207	101,774	101,617
			実績額	71,784	85,605	95,639	112,446	119,622	-
			執行率	84.5%	113.3%	108.3%	116.9%	117.5%	-



特記事項

スポーツ推進委員の欠員による非常勤報酬の残、交流自治体スポーツ交流の台湾渡航者減による旅費の残等により、執行残が生じています。

わいわいスポーツ教室は、参加者増に伴いバス借り上げ料が増加、中学生親善野球大会は、台湾開催年であったため旅費、分担金が増加したため、昨年度よりも実施額が増加しています。

令和7年度　事業実施状況（Ｄｏ）

整理番号	107

	内　　容	規模	単位	事業費（千円）
主な取組	交流自治体中学生親善野球大会の開催等	197	人	13,104
	中学校対抗駅伝大会の開催	434	人	8,208
	スポーツ推進委員の活動	19	人	2,703
	わいわいスポーツ教室の開催	146	人	2,038
	その他（　その他（体育団体活動の奨励、スポーツ栄誉章等）　）			2,662
取組成果	交流自治体中学生親善野球大会は、台湾を訪問して、台湾台北市、南相馬市と杉並区の中学生が野球を通じて交流しました。中学校対抗駅伝大会は、区内公立・私立中学校と南相馬市チーム、青梅市チーム、男女合計434人が参加し、106人の区民協力者等が関わりました。重度心身障害者スポーツ教室「わいわいスポーツ教室」を全6回開催し、延べ146人が参加し、延べ141人のボランティアが関わりました。各種体育団体の事業に、共催（32件）、後援（105件）を行い、活動を支援しました。スポーツ栄誉顕彰は、栄誉章（22組54人）と特別栄誉章（2人）を授与しました。スポーツ推進委員は、区内4つのエリアで地域の実情に応じて地域拠点活動を行ったほか、一人でもチームでも参加できる綱引き大会や、ビーチコートでのオリジナルイベントなどの全区的事業を行い、工夫をしながら地域住民のスポーツのきっかけづくりを推進しました。			

課題の分析、方向性・改善策（Ｃｈｅｃｋ・Ａｃｔｉｏｎ）

課題の分析	成果指標（１）の「各種事業参加者数・スポーツ栄誉章被顕彰者数」の実績値は、目標値2,315人に対して、前年度から287人増の2,635人と、目標を達成しました。この要因は、中学校対抗駅伝大会は、私立中学や交流自治体の参加が増えたほか、スポーツ推進委員の地域拠点活動の参加者増、重度心身障害者スポーツ教室（わいわいスポーツ教室）の参加者増や、デフリンピック関係イベントに予想を大幅に超える参加があったことなどによるものです。成果指標（２）の「各種事業ボランティア等人数」は、目標値368人に対して実績は375人と、目標を達成しました。重度心身障害者スポーツ教室「わいわいスポーツ教室」、中学校対抗駅伝大会、交流自治体中学生親善野球大会は、多くのボランティアに支えられています。スポーツ推進委員は、定数50人に対して20人前後で推移しながらも、活発に活動しており、地域拠点活動に多くの区民が参加しています。引き続き効果的に周知を行い、委員の確保に努めます。
現年度の取組成果・予算執行状況（年度末までの見込み含む）	交流自治体中学生親善野球大会は、10月に杉並区で開催し、杉並区、台湾台北市、福島県南相馬市の中学生が3日間に渡り交流を深めます。中学校対抗駅伝大会は、12月に開催し、男女とも約25チームが選手として参加し、地域の関係団体が大会スタッフとして活動する見込みです。重度心身障害者スポーツ教室（わいわいスポーツ教室）は、年6回開催し、毎回定員を超える申し込みがあります。スポーツ推進委員は地域拠点活動や綱引き大会を行い、スポーツのきっかけづくりに取り組んでおり、共催・後援による体育団体事業は、計画されている全ての事業の開催により、多くの区民が参加する見込みです。
事業の方向性・改善策	交流自治体中学生親善野球大会や中学校対抗駅伝大会は、この大会の特徴である交流や挑戦などの多様な体験に基づく学びや育ちの機会となるよう、改善を重ねながら取組を進めます。また、重度心身障害者スポーツ教室（わいわいスポーツ教室）は、参加者の増加に合わせて、プログラム内容やボランティア体制の検討を行った上で、定員の増加を図るとともに、スポーツ振興財団への事業の移管を行います。スポーツ推進委員の募集に当たり多方面に周知を行うことで委員の増員を目指します。

令和9年度の方針（Ａｃｔｉｏｎ）

Ⅰ.事業コストの方向性	現状維持
Ⅰ.事業コストの方向性の理由	スポーツ推進委員の欠員による非常勤報酬の残がありますが、募集に当たり多方面に周知を行うことで委員の増員を目指します。
Ⅱ.事業の改善の方向性	手段・方法の見直し（改善）
Ⅱ.事業の改善の方向性の理由	

令和8年度　杉並区事務事業評価シート

事務事業名称	公益財団法人杉並区スポーツ振興財団への助成				款 03	項 06	目 01	事業 002	整理番号	108	
現担当課名	スポーツ振興課			係名 計画推進担当				連絡先電話番号	1695	昨年度整理番号	101
上位施策No・施策名	29	誰もがスポーツに親しむことができる環境づくり						予算事業区分	既定事業		
事業開始	平成5年度	実行計画事業	分野 08	施策 29	計画事業 01	02					
令和7年度担当課名	スポーツ振興課							事業評価区分	一般		

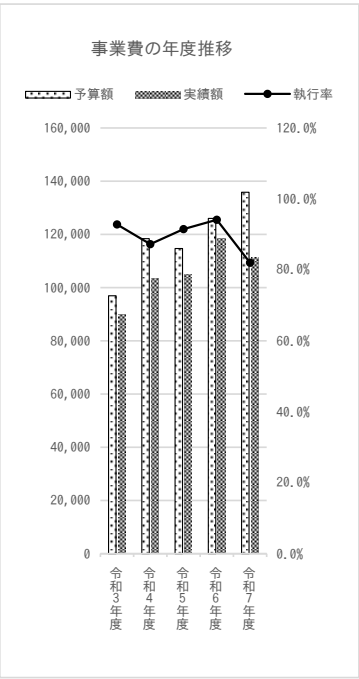
令和7年度　事務事業の概要（Ｐｌａｎ）

対象	根拠法令等
公益財団法人杉並区スポーツ振興財団	社会教育法第3、5条 スポーツ基本法第34条
事業の目的・目標（対象をどのような状態にしたいのか）	**事業内容（事務事業の内容、やり方、手段）**
公益財団法人杉並区スポーツ振興財団が、その設立目的であるスポーツ振興に関する事業を活発に行うことができるよう、補助金を支出し、財団の安定的な運営に役立てる。	○公益財団法人杉並区スポーツ振興財団が行う「各種スポーツ教室・講座及び各種大会の運営に関する事業」、「スポーツ関係団体の育成・支援及び指導者の養成事業」、「スポーツ振興のための普及啓発事業」等に必要な経費を助成する。

指標、総事業費（Ｐｌａｎ・Ｄｏ）

	指標名	指標説明	単位		令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
活動指標	教室等参加者数		人	計画	29,518	30,279	27,889	27,873
				実績	25,193	27,166	26,605	-
				達成率	85.3%	89.7%	95.4%	-
	事業開催数		種目	計画	31	30	29	29
				実績	31	30	31	-
				達成率	100.0%	100.0%	106.9%	-
成果指標	運動・スポーツをしていない人の割合	区民意向調査による	%	計画	15	15	15	15
				実績	18.8	16.1	17.4	-
				達成率	125.3%	107.3%	116.0%	-
	分類 区民満足度指標							
	利用者満足度	利用者満足度調査	%	計画	85	85	85	85
				実績	94.9	91.4	92.4	-
				達成率	111.6%	107.5%	108.7%	-
	分類 利用者満足度指標							

		単位		令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
事業費		千円	予算額	96,935	118,402	114,695	126,009	135,841	139,316
			実績額	89,966	103,306	104,934	118,607	111,411	-
			執行率	92.8%	87.3%	91.5%	94.1%	82.0%	-
人件費	常勤職員分（再任用含）	千円	予算額	4,252	3,337	4,159	4,186	4,278	4,450
			実績額	5,840	4,159	5,860	5,989	6,230	-
			執行率	137.3%	124.6%	140.9%	143.1%	145.6%	-
	上記以外の職員		予算額	0	0	0	0	0	0
			実績額	0	0	0	0	0	-
			執行率	-	-	-	-	-	-
総事業費（事業費+人件費）		千円	予算額	101,187	121,739	118,854	130,195	140,119	143,766
			実績額	95,806	107,465	110,794	124,596	117,641	-
			執行率	94.7%	88.3%	93.2%	95.7%	84.0%	-
財源	受益者負担分①	千円	予算額	0	0	0	0	0	0
			実績額	0	0	0	0	0	-
			執行率	-	-	-	-	-	-
	国・都からの補助金②	千円	予算額	0	0	0	0	0	0
			実績額	0	0	0	0	0	-
			執行率	-	-	-	-	-	-
	その他の補助金等③	千円	予算額	0	0	0	0	0	0
			実績額	0	0	0	0	0	-
			執行率	-	-	-	-	-	-
	特定財源（①+②+③）	千円	予算額	0	0	0	0	0	0
			実績額	0	0	0	0	0	-
			執行率	-	-	-	-	-	-
	差引：一般財源（総事業費-特定財源）	千円	予算額	101,187	121,739	118,854	130,195	140,119	143,766
			実績額	95,806	107,465	110,794	124,596	117,641	-
			執行率	94.7%	88.3%	93.2%	95.7%	84.0%	-



特記事項

財団職員の育児休業取得等による人件費の実績減などの要因により、執行残が生じています。
成果指標（１）運動・スポーツをしていない人の割合は、計画（目標値）よりも実績が低い場合に、より成果があったと評価できる指標です。

令和7年度　事業実施状況（Ｄｏ）

整理番号	108

	内　　容	規模	単位	事業費（千円）
主な取組	運営等補助	1	団体	111,411
	その他（　　）			0
取組成果	公益財団法人杉並区スポーツ振興財団では、学校や障害者施設等を活用した各種スポーツ教室のほか、「東京2025デフリンピック」応援イベント等の応援するスポーツの取組、「区スポーツ祭」など多様なイベント・大会等の事業を実施しました（31事業、延べ26,605人参加）。また、スポーツ関係団体の育成・支援及び指導者の養成、区民のスポーツ活動を促進するための普及啓発に取り組みました。 区は、こうした財団の取組を支援するため、運営及び事業に要する経費への助成を行いました。			

課題の分析、方向性・改善策（Ｃｈｅｃｋ・Ａｃｔｉｏｎ）

課題の分析	財団では令和7年度、教室・大会等の事業の参加者数は令和6年度と比較して約2%減少したものの、「東京2025デフリンピック」の普及啓発に注力するなど、区民のスポーツ振興に資する公益性の高い事業を幅広く実施しました。 今後は、杉並区スポーツ推進計画の改定を機に、地域スポーツを支える体制の充実・強化に向けて区と財団が協力し、財団はより公益的な事業実施の主体として、区からの事業移管等や中学校運動部活動の支援に関する区教育委員会との連携、既存事業の見直し等を進める必要があります。
現年度の取組成果・予算執行状況（年度末までの見込み含む）	財団では、令和8年度の事業計画に基づき、区民のスポーツ振興に資する事業を着実に実施しています。また、令和9年度の予算編成に向け、区からの事業移管・委託や財団の既存事業の見直し等について、区と財団が協力して具体的な検討を進めています。
事業の方向性・改善策	区事業の重度心身障害者スポーツ教室「わいわいスポーツ教室」を令和9年度から財団に移管するほか、すぎなみスポーツアカデミーに関する業務の委託を段階的に進めるとともに、中学校対抗駅伝大会の将来的な一部業務の委託に向けてノウハウを継承していきます。また、財団の既存事業の一部については、事業の実施状況を踏まえ、令和9年度から廃止や実施方法の見直し等を行います。 中学校運動部活動の地域展開に関しては、区教育委員会を通じて各学校のニーズや課題を把握した上で、必要となる人材の確保等の支援策について、引き続き検討していきます。

令和9年度の方針（Ａｃｔｉｏｎ）

Ⅰ.事業コストの方向性	現状維持
Ⅰ.事業コストの方向性の理由	
Ⅱ.事業の改善の方向性	手段・方法の見直し（改善）
Ⅱ.事業の改善の方向性の理由	公益団体として、より効果的な事業展開を図るため、スポーツ始めキャンペーンやスポーツコンシェルジュ等の実施方法の見直し及び事業のスクラップアンドビルドなどにより、適切に予算を見積もります。

令和8年度　杉並区事務事業評価シート

事務事業名称	スポーツ推進計画				款 03	項 06	目 01	事業 003	整理番号	109	
現担当課名	スポーツ振興課		係名 計画推進担当、事業係					連絡先電話番号	1695	昨年度整理番号	102
上位施策No・施策名	29	誰もがスポーツに親しむことができる環境づくり						予算事業区分	既定事業		
事業開始	平成24年度	実行計画事業	分野 08	施策 29	計画事業 02	01		主要事業（区政経営報告書掲載事業）			
令和7年度担当課名	スポーツ振興課							事業評価区分	一般		

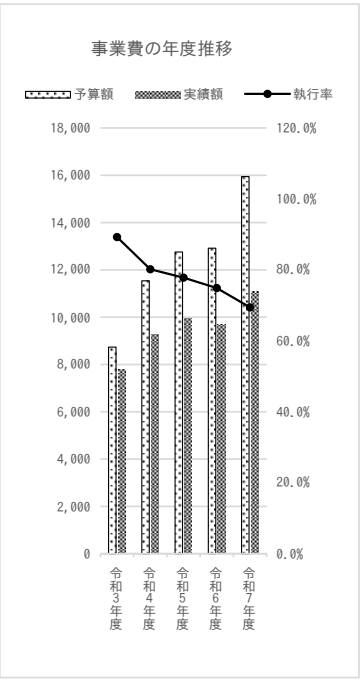
令和7年度　事務事業の概要（Ｐｌａｎ）

対象	根拠法令等
区民 スポーツ関係団体	スポーツ基本法第9条
事業の目的・目標（対象をどのような状態にしたいのか）	**事業内容（事務事業の内容、やり方、手段）**
○スポーツ・運動が、区民により身近になることで健康維持に役立ち、さらに地域のつながり・交流に結び付くよう、スポーツ推進計画「健康スポーツライフ杉並プラン」を推進する。	○スポーツ分野の人材育成プログラム「すぎなみスポーツアカデミー」では、各種の講座を開催するほか、修了者に実践の場を紹介する取組を推進する。 ○障害者スポーツの推進に向け、「障害者スポーツネットワーク」及び「ユニバーサルタイム」の開催や施設のユニバーサルデザインの推進に取り組む。 ○総合型地域スポーツクラブの設立・運営支援を行う。 ○学校施設を活用した地域スポーツ振興事業を行う。

指標、総事業費（Ｐｌａｎ・Ｄｏ）

	指標名	指標説明	単位		令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
活動指標	スポーツアカデミー参加者数		人	計画	300	300	300	300
				実績	419	637	644	-
				達成率	139.7%	212.3%	214.7%	-
	ユニバーサルタイム開催回数		回	計画	14	20	28	32
				実績	13	20	27	-
				達成率	92.9%	100.0%	96.4%	-
成果指標	成人の週1回以上のスポーツ・運動実施率	区民意向調査による	%	計画	62	63	63	64
				実績	58.3	57.1	57.6	-
				達成率	94.0%	90.6%	91.4%	-
	分類 区民満足度指標							
	ユニバーサルタイム参加人数	参加人数	人	計画	900	900	900	900
				実績	359	426	582	-
				達成率	39.9%	47.3%	64.7%	-
	分類 行政サービス成果指標							

		単位		令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
事業費		千円	予算額	8,735	11,538	12,756	12,917	15,944	19,766
			実績額	7,796	9,251	9,925	9,672	11,070	-
			執行率	89.3%	80.2%	77.8%	74.9%	69.4%	-
人件費	常勤職員分（再任用含）	千円	予算額	11,054	21,525	9,150	9,208	17,968	18,690
			実績額	15,017	9,150	10,882	11,123	19,580	-
			執行率	135.9%	42.5%	118.9%	120.8%	109.0%	-
	上記以外の職員	千円	予算額	0	0	0	0	0	0
			実績額	0	0	0	0	0	-
			執行率	-	-	-	-	-	-
総事業費（事業費+人件費）		千円	予算額	19,789	33,063	21,906	22,125	33,912	38,456
			実績額	22,813	18,401	20,807	20,795	30,650	-
			執行率	115.3%	55.7%	95.0%	94.0%	90.4%	-
財源	受益者負担分①	千円	予算額	0	0	0	0	437	437
			実績額	0	0	0	284	264	-
			執行率	-	-	-	-	60.4%	-
	国・都からの補助金②	千円	予算額	0	0	0	0	3,100	3,500
			実績額	0	0	0	3,550	4,161	-
			執行率	-	-	-	-	134.2%	-
	その他の補助金等③	千円	予算額	0	0	0	0	0	0
			実績額	0	0	0	0	0	-
			執行率	-	-	-	-	-	-
	特定財源（①+②+③）	千円	予算額	0	0	0	0	3,537	3,937
			実績額	0	0	0	3,834	4,425	-
			執行率	-	-	-	-	125.1%	-
	差引：一般財源（総事業費-特定財源）	千円	予算額	19,789	33,063	21,906	22,125	30,375	34,519
			実績額	22,813	18,401	20,807	16,961	26,225	-
			執行率	115.3%	55.7%	95.0%	76.7%	86.3%	-



特記事項

すぎなみスポーツアカデミーの実施内容の精査、ユニバーサルタイムにおける報償費及び需用費の実績残等により、執行残が生じています。
令和7年度から新たに、学校施設を活用した地域スポーツ振興事業を実施したため、令和6年度と比較して事業費が増加しています。

令和7年度　事業実施状況（Ｄｏ）

整理番号	109

	内　　容	規模	単位	事業費（千円）
主な取組	すぎなみスポーツアカデミーの運営	5	講座	2,097
	チャレンジアスリートの開催	162	人	2,538
	障害者スポーツの推進	582	人	4,825
	学校施設を活用した地域スポーツ振興事業	97	人	1,171
	その他（　総合型地域スポーツクラブ研修ほか　）			439
取組成果	健康スポーツライフ杉並プラン推進懇談会を開催し、令和7年度における計画事業の進捗状況等について、委員から今後の取組に生かせる多数の意見をいただきました。ユニバーサルタイムは荻窪体育館11回、上井草スポーツセンター12回、新規に永福体育館で4回の計27回開催（令和6年度比7回増）し、延べ582人が参加しました。開催に当たり、関係団体で構成する障害者スポーツネットワークを通じて、より良いプログラム内容や使いやすい施設のあり方等について意見を聴取しました。すぎなみスポーツアカデミーは、だれもが基礎的なことを学ぶことのできる一般科目と、専門的なニーズに対応する専門科目を合わせて5講座開催し、延べ370人が参加し、修了者延べ274人が区や杉並区スポーツ振興財団の事業に協力しました。チャレンジ・アスリートはオリンピック種目等の実技体験を3回、スポーツに関する職場見学を5コース行い、延べ162人が参加しました。学校施設を活用した地域スポーツ振興事業は、方南小学校の校庭で小学生向け及び未就学児親子向けの教室を計5回開催し、延べ97人が参加しました。			

課題の分析、方向性・改善策（Ｃｈｅｃｋ・Ａｃｔｉｏｎ）

課題の分析	杉並区スポーツ推進計画「健康スポーツライフ杉並プラン」（令和4年度～令和12年度）は、策定から4年が経過しており、総合計画・実行計画の改定、各計画事業の進捗等の状況を踏まえ、改定に向けた取組を進める必要があります。ユニバーサルタイムは、荻窪体育館では月1回の開催が定着し、より円滑に指定管理者と連携した運営を進める必要があります。上井草スポーツセンターは、運動場または体育館で月1回開催し、安定的な運営ノウハウが蓄積されつつあり、今後は特に平日の参加者が増えるよう、時間帯の検討や周知方法を工夫するほか、プールでの開催を実現する必要があります。また、令和7年度からの永福体育館での開催については、当該年度の実績等に基づき、障害者スポーツネットワークの意見等を踏まえながら、プログラムの充実や開催回数の増を図る必要があります。今後のユニバーサルタイムの継続的な実施に当たっては、引き続き、現場を支えるサポーターの養成に加え、指定管理者と区の役割分担と連携のあり方を具体的に検討し、実施に向けて取り組む必要があります。
現年度の取組成果・予算執行状況（年度末までの見込み含む）	学校施設を活用した地域スポーツ振興事業は、方南小学校及び新たに高井戸第二小学校で、令和7年度と同様に合計6回の教室の実施を計画しています。 令和8年度のユニバーサルタイムは、荻窪体育館及び上井草スポーツセンターで各12回、永福体育館で8回開催し、そのうち1回はプールで実施する予定です。サポーター、理学療法士、看護師など、様々な地域の関係者とともに、ユニバーサルタイムの継続的な実施体制を充実していくとともに、令和9年度に向けて、障害者スポーツネットワークの意見等を踏まえながら、指定管理者と区の役割分担と連携について具体化していきます。
事業の方向性・改善策	杉並区スポーツ推進計画の改定については、改定後の総合計画・実行計画の内容を反映した上で、健康医療分野との連携をより一層図ることとし、令和9年度以降、改定に向けた取組を進めていきます。 ユニバーサルタイムは、令和9年度以降も開催場所や実施回数を拡大していく予定であり、引き続きより多くの方が参加できるよう、日程やプログラムの充実が必要なことから、今後の担い手である指定管理者と共に、よりよいあり方を協議し、実現を図ります。

令和9年度の方針（Ａｃｔｉｏｎ）

Ⅰ.事業コストの方向性	現状維持
Ⅰ.事業コストの方向性の理由	
Ⅱ.事業の改善の方向性	実施主体の見直し
Ⅱ.事業の改善の方向性の理由	ユニバーサルタイムについて、令和9年度から区直営事業であったものを指定管理者を実施主体、区は企画立案として役割を見直す等、より充実した取り組みとしていきます。また、施設のユニバーサルデザインについては、利用者や関係団体の意見や要望などを踏まえ、指定管理者との協働による利用のしやすい施設運営を行い、誰もがスポーツに親しめる環境づくりを行います。

令和8年度　杉並区事務事業評価シート

事務事業名称	下高井戸おおぞら公園スポーツコートの整備			款	03	項	06	目	03	事業	002	整理番号	111
現担当課名	スポーツ振興課		係名	計画推進担当						連絡先電話番号	1695	昨年度整理番号	104
上位施策No・施策名	29	誰もがスポーツに親しむことができる環境づくり								予算事業区分	投資事業		
事業開始	令和4年度	実行計画事業	分野	08	施策	29	計画事業	03		主要事業（区政経営報告書掲載事業）			
令和7年度担当課名	スポーツ振興課									事業評価区分	一般		

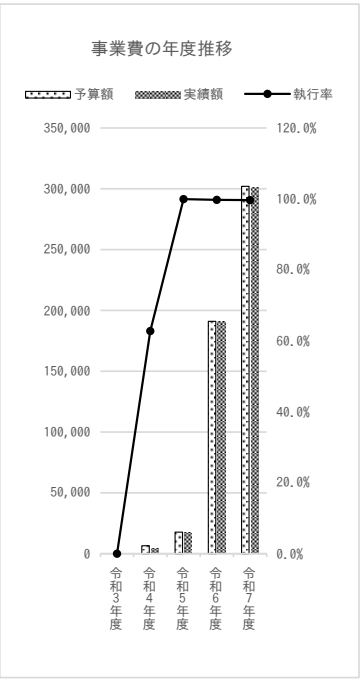
令和7年度　事務事業の概要（Ｐｌａｎ）

対象	根拠法令等
施設利用者（区民、団体等）	
事業の目的・目標（対象をどのような状態にしたいのか）	**事業内容（事務事業の内容、やり方、手段）**
下高井戸おおぞら公園の多目的スポーツコートの管理棟（パークステーションⅡ）が完成し、利用が開始される。	○令和8年10月の開設に向け、多目的スポーツコートの利用者が使用する更衣室やシャワー室、多目的ルーム等を備えた管理棟を整備する。

指標、総事業費（Ｐｌａｎ・Ｄｏ）

	指標名	指標説明	単位		令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
活動指標	設計進捗率	管理棟（パークステーションⅡ）の設計の進捗状況	%	計画	100	100	100	100
				実績	100	100	100	－
				達成率	100.0%	100.0%	100.0%	－
	工事進捗率	管理棟（パークステーションⅡ）の建設工事の進捗状況	%	計画	0	10	100	100
				実績	0	0	100	－
				達成率	－	0.0%	100.0%	－
成果指標	分類			計画	－	－	－	－
				実績	－	－	－	－
				達成率	－	－	－	－
	分類			計画	－	－	－	－
				実績	－	－	－	－
				達成率	－	－	－	－

		単位		令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
事業費		千円	予算額	－	6,533	17,711	191,039	302,021	31,149
			実績額	－	4,100	17,701	190,535	301,017	－
			執行率	－	62.8%	99.9%	99.7%	99.7%	－
人件費	常勤職員分（再任用含）	千円	予算額	－	0	6,654	6,697	6,845	7,120
			実績額	－	6,904	12,054	13,604	10,680	－
			執行率	－	－	181.2%	203.1%	156.0%	－
	上記以外の職員		予算額	－	0	0	0	0	0
			実績額	－	0	0	0	0	－
			執行率	－	－	－	－	－	－
総事業費（事業費+人件費）		千円	予算額	－	6,533	24,365	197,736	308,866	38,269
			実績額	－	11,004	29,755	204,139	311,697	－
			執行率	－	168.4%	122.1%	103.2%	100.9%	－
財源	受益者負担分①	千円	予算額	－	0	0	0	0	0
			実績額	－	0	0	0	0	－
			執行率	－	－	－	－	－	－
	国・都からの補助金②	千円	予算額	－	0	0	0	53,000	0
			実績額	－	0	0	0	49,550	－
			執行率	－	－	－	－	93.5%	－
	その他の補助金等③	千円	予算額	－	0	0	0	0	0
			実績額	－	0	0	0	0	－
			執行率	－	－	－	－	－	－
	特定財源（①+②+③）	千円	予算額	－	0	0	0	53,000	0
			実績額	－	0	0	0	49,550	－
			執行率	－	－	－	－	93.5%	－
	差引：一般財源（総事業費-特定財源）	千円	予算額	－	6,533	24,365	197,736	255,866	38,269
			実績額	－	11,004	29,755	204,139	262,147	－
			執行率	－	168.4%	122.1%	103.2%	102.5%	－



特記事項

令和7年度は管理棟建設工事の最終年度であったため、工事費支出が増加し、事業費が前年度より大幅に増加しました。
債務負担行為総額：294,000千円（令和7年度まで）

令和7年度　事業実施状況（Ｄｏ）

整理番号	111

	内　　容	規模	単位	事業費（千円）
主な取組	管理棟（パークステーションⅡ）建設工事			291,177
	工事監理業務委託			7,780
	その他（　実施設計再積算業務委託等　）			2,060
取組成果	更衣室やシャワー室、多目的ルーム等を備え、環境に配慮し『ＺＥＢ』化するスポーツコート管理棟（パークステーションⅡ）の建設工事が完了しました。また、令和8年10月の開設に向けて、施設の運営方法を検討した結果、公園部分も含めて、現在の区南部における体育施設等と一体的に指定管理者により運営することとしました。			

課題の分析、方向性・改善策（Ｃｈｅｃｋ・Ａｃｔｉｏｎ）

課題の分析	指定管理者の選定及び指定管理者との運営等に関する協議や初度調弁など、令和8年10月の運営開始に向けた準備を進める必要があります。
現年度の取組成果・予算執行状況（年度末までの見込み含む）	指定管理者を選定し、運営開始に向けた協議、初度物品の納入及びオープン記念イベント等の準備を進め、令和8年10月にオープンしました。
事業の方向性・改善策	令和8年10月に運営開始のため、整備事業は終了し、施設の管理運営については、「体育施設の維持管理」事業に引き継がれます。

令和9年度の方針（Ａｃｔｉｏｎ）

Ⅰ.事業コストの方向性	廃止
Ⅰ.事業コストの方向性の理由	令和8年10月の運営開始に伴い、事業は終了します。
Ⅱ.事業の改善の方向性	廃止
Ⅱ.事業の改善の方向性の理由	